



# 木曾呂小だより

平成29年11月号 川口市立木曾呂小学校  
http://kizoro-official.jp

## 学校教育目標

- ・進んで学ぶ
- ・豊かな心
- ・たくましい体



## 感謝・謙虚・意志力

校長 中河 正明

秋も徐々に深まりをみせ、紅葉の季節となりました。10月10日（かつての体育の日）、に神根地区陸上大会が本校で行われました。神根地区6校の5年生が一同に集まり、徒競走、選抜リレーと各学校の思いを担って元気に躍動していました。また、10月28日（土）の学校公開で午後「森の音楽会」が実施されました。音楽は、音を楽しみ感じ取ることで豊かな情操を育むものです。1年生から6年生の子供たちの発達段階に応じた合唱、合奏を感じ取っていただけたと思います。

さて、今年もノーベル賞のニュースがありました。残念ながら今年には受賞者がおりませんが、昨年まで3年連続で受賞されています。特に昨年のノーベル生理学医学賞で大隅良典さんが受賞されたことが印象に残っております。これで、日本人において湯川秀樹さんを始めとし、25名の方がノーベル賞を受賞したことになります。

大隅さんの偉業は、生命体における「自ら（Auto）」を「食べる（Phagy）」という意味を持つ「オートファジー（Autophagy）」（命をつなぐ細胞内のリサイクル機能）について研究したことです。パーキンソン病など神経変性疾患にも関係すると言われ、その研究は今、世界中で大きな注目を集めているとのこと。

大隅さんは記者会見で次のような名言をおっしゃっていました。

- 大事なのは、子供時代に誰もが持っている「これは何だろう、どうなっているんだろう」という素直な気持ち。
- 誰が一番乗りかを競うより、誰もやっていないことを見つけた喜びが研究者を支える。
- 私の研究は当時のはやりでは全くなかった。謎を解明する方が、はやりの研究をして他の研究者と競争するよりずっと面白いと思った。
- 私は競争があまり好きではありませんで、人がよってたかってやっているより、人がやっていないことをやる方が楽しい。
- 自分が面白いと思った道を突き進んでほしい。
- 科学をする心というのが何十年か後の日本を支えるんだということを、もっとたくさんの人に知ってもらうことが大事。等

大隅さんの語録や会見内容を振り返ると、そこには周りの人への感謝、謙虚の気持ちと、生き続けること、仕事をやり続けること、更に学び続ける意志力をもち続ける大切さを改めて感じます。

木曾呂っ子が、この感謝、謙虚、意志力をもって更に高く羽ばたくこと切に願います。

◎ 学校のホームページアドレスが変わりました。

11月		11月行事予定		11月行事予定		
日	曜	主な行事予定		日	曜	主な行事予定
1	水	講話朝会	修学旅行前健診6年	16	木	持久走大会
2	木	見沼見学3年	委員会活動	17	金	持久走大会(予) 読み聞かせ(1・4年)
		持久走練習	PTAベルマーク委員会	18	土	
3	金	文化の日		19	日	
4	土			20	月	不審者対応避難訓練
5	日			21	火	修学旅行6年①
6	月	登校指導① 陶芸教室6年		22	水	修学旅行6年②
		盲導犬体験4年		23	木	勤労感謝の日
7	火	② 持久走練習 夢わーく		24	金	読み聞かせ(2・5年) 教育相談日
		プラネタリウム見学4-1・2・3		25	土	きぞろっ子まつり
8	水	クラブ	4-4・5 1年生活収穫祭	26	日	
9	木	就学時健診3時間授業		27	月	
10	金	読み聞かせ(3・6年)	なかよし班遊び	28	火	市内巡り3年3・4組
11	土	ふれあいなわとび大会		29	水	市内巡り3年1・2組 クラブ活動
12	日	PTAソフトボール大会(神根グラウンド)		30	木	
13	月	授業研究会4年				
14	火	県民の日				
15	水	体育朝会	持久走練習 クラブ 代表委員会			

※彩の国教育の日(11/1)  
彩の国教育週間(11/1～11/7)



## 12月 [12月はじめの行事予定]

1	金	参観・懇談(低) 読み聞かせ(3・6年)	8	金	読み聞かせ(2・5年) 代表委員会
4	月	参観・懇談(高)	11	月	
5	火	参観・懇談(中) 特別日課	12	火	
6	水	講話朝会 委員会活動	13	水	児童集会
7	木	なかよし班遊び	14	木	

## 【ご注意ください。便利だけれど危険もはらんでいます。】

今や子どもたちの間でも所持率の上昇しているスマートフォン。上手に使いこなせば大変便利なアイテムです。しかし、その使い方については、保護者の方は十分把握していますか。子どもたちの中には、ライン等、SNSを通してトラブルも起きています。フィルターをかけていただくことはもちろん、保護者自身が撮影した写真や動画を安易にインターネットにアップすることは、個人情報流出にもつながります。我が子が頑張っている様子を多くの人に知らせたい気持ちはわかりますが、同時に写ってしまった方の事も考えてぜひ、お控えください。